

鈴木 朝英 先生揮毫

事務局 札幌市西区西野7条2丁目1-2
齋藤 彰方
TEL 090-3773-8824

発行責任者
会長 竹田正直
北大教育学部同窓会

大学改革と部局改革 ―困難な時代に希望を紡ぐ 地道な取り組みをめざして



大学院教育学研究院长・教育学院長・教育学部長

姉崎洋一

一 東日本大震災への部局の取り組み

二〇一一二〇年は、大きな変動の年でした。言うまでもなく、二〇一一年三月一日の東日本大震災がそれでした。大地震・大津

波・原発事故の三重苦は、岩手・宮城・福島を中心として多大な犠牲者と地域の暮らしと産業、生業に打撃を与え、その復旧・復興は一年と五ヶ月を経た。二〇一二年八月後半の今もその途上にあるものと言わざるを得ません。とりわけ、宮城の海岸沿いの地域、岩手の三陸海岸地域、福島第一原発地域周辺の被曝・被災地には、地域の公共の基盤回復、住宅や生活の基盤回復、教育・就労機会の確保、

産業興し、安全安心な地域に取り戻すための長期的な多くの支援が必要です。ま

た地元の合意を踏まえた、住民による住民のための地域復計画が求められています。

私も遅ればせながら、今年六月に仙台荒浜地区や亘理町を訪れ、被災地の現状と復興に取り組むNPO団体、住民の方に接して、その思いを強くしました。

3・11は日本社会に大きな試練をあたえました。本部では、北大の被災地支援の活動に連携しながら、独自の活動も進めてきました。

* H23、24年卒業・修了の方、及び学生・院生は

是非お誘いあわせの上、ご参加ください。

主催	北海道大学	共催	北海道大学連合同窓会
主会場	北海道大学札幌キャンパス（クラーク会館他）		
日時	平成24年10月6日（土）		
会場	中国料理「満漢樓（マンカノロウ）」 (札幌市中央区南4条西5丁目 東急インプラザ109 2F)		
TEL	011-522-5788		
会費	5000円（税込み）		
特別会費	2000円とします。		
	* 年会費未納の方は、あわせて2000円を納入ください。		

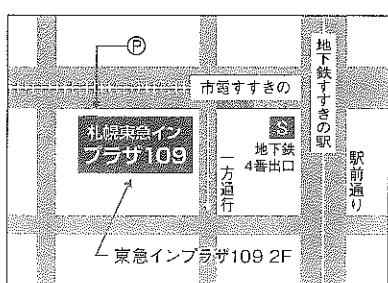
連絡先（幹事）：

〒063-10037

札幌市西区西野7条2-1-1-2

TEL 090-3773-8824

齋藤 彰（サイトウ アキラ S55教育行政卒）



の発達電話相談も一定時間内の限定付きながら受け付けています。二つには、学生たちの被災地でのボランティア支援活動についての休学に関する、本人の申し出があり、その活動の一部が授業科目に読み替えることが可能であれば、その活動レポート等を単位に換算する措置をとるようにしてきています。学生・院生達の中には、そのような支援を丁重に返上し、文字通り自主的なボランティア活動に参加している者も見られます。三つには、震災問題を持続的に考え復興に取り組む施策を進めるためのシンポジウム等の企画、その事業支援のための学術専門員の短期雇用についての措置などを行ってきました。

とはいって、これらは震災の被害の甚大さに比べれば、ささやかな貢献にとどまっていることも自覚しているところであります。

二 大学改革と部局改革

二〇一二年は、他の政治案件（消費税増税、原発稼働問題、TPP問題など）の陰に隠れて目立ちませんが、実は、大学改革の嵐が

再び全国の大学を覆っている年といえます。

国立大学法人化（二〇〇四年）から八年、第一期中

期目標期間を超えて、第二期中期目標期間の三年目に

なるわけですが、管内閣から野田内閣に転じて以降、大学改革促進の勢いが増大しています。とりわけ、昨年末から今年の年明けにかけてその動きが加速され、

一月以降の国家戦略会議および中央教育審議会の改革諸提言が、三月、四月以降、矢継ぎ早に出されてきています。文科省は、これらを前提にして、大学に改革を

うながしています。今や、「グローバル」「スピーディ」「大学改革」「質保証」「人材育成」「ミッション」というキーワードが、大学界を覆っていると言つても過言ではありません。諸改革提言の類を例示してみると

下記のようになります。「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力と育成する大学へ」（中央教育審議会大学分科会大

学教育部会、二〇一二・三・二六）「人材のイノベーションによる日本再生の実現に向けて」（文科省、二

〇一二年四月）、「次世代の育成と活躍できる社会の形成に向けて」（国家戦略会議における民間会議からの提案、二〇一二・四・九）

「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」（中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会、審議のまとめ、二〇一二・五・一五）

そして、これらの集大成と「べき文書が六月五日に提出された「大学改革実行プラン」です。文科省によれば、同プランは、「二つの柱」と八つの課題を持つと説明しています。すなわち「一

つ目の柱が、「激しく変化する社会における大学の機能の再構築」であり、

「二 大学教育の質的転換、大学入試改革」

た人材育成

三 地域再生の核となる大學づくり（COC (Center of Community) 構想の推進）

二〇一二年は、他の政治案件（消費税増税、原発再稼働問題、TPP問題など）の陰に隠れて目立ちませんが、実は、大学改革の嵐が

実「強化」であり、

五 国立大学改革

六 大学改革を促すシステム・基盤整備

七 財政基盤の確立とメリハリある資金配分の実施

八 大学の質保証の徹底推進【私立大学の質保証の徹底推進と確立（教学・経営の両面から）】を内容としています。

私は、個人的にはこれらをこそ希求したいと考えておらず、自主性を担保した改革をめぐる状況は、厳しいものがあることは確かです。私たちは、この点で、改革を忌避するのではなく、むしろ、自主性を担保した改革をこそ希求したいと考えています。そこで、今行つておるのは、一つには、国が示す改革方向を、慎重に受け止めながら、対案を用意する方向です。現在申請プロジェクトに対する採否審議プロセス進行形のものもあり、また事柄の性質上ここには具体的に書けないものもありますが、本学及び本部局においても、上述の改革動向をにらみながら、対応方策を検討してきました。その上で、政策に振りた。その上で、政策に振り回されるのではなく、自主性を確保した上で、今年度予算に係りしてのプロジェクトに関して、関係部局・大学と協同しての応募などを改めております。これらは新たな博士学位の付与の検討も開始してきています。

今年度は、ニーズ調査や他大学、諸外国の事例調査なども含めて、その構想の実現に着手していく計画で

法」（案）です。これらも、ここでは、詳述しませんが、両法案が可決されると、大

く違です。

研究の総合的連携の試みもつた部局主催の総合的企画「遊ぶ・学ぶ・働く」シンポジウムは、その一例です。多くの大学内外の参加者を得て、その後の継続的な力になっています。

この秋（一月二一日）には、この発展企画として「生きづらさ」を超えてと題して意欲的なシンポジウムを計画しています。教育研究院、学院、学部のリソースを生かしながら、新たな部局の発展方向を探っていくことは、私たちの夢のある課題と考えています。

教育面では、学部と大学院のカリキュラム改革に着手してきています。その研究課題の一つには、高度な専門性を有した職業人、研究者を養成する点において、

新たな博士学位の付与の検討も開始してきています。

今年度は、ニーズ調査や他大学、諸外国の事例調査なども含めて、その構想の実現に着手していく計画で

ます。

また、授業改革のためのフォーラム、学生への教育学部で学んでいることに満足度、ニーズ、改善を含めてのアンケートを行つてきました。加えて、同窓会の協力も得ての取り組みとしては、卒業生へのアンケートを実施して、教育学部で学んだことが社会に出ていかに生かされているのかのデータを集めて、その内容の分析を行つきました。面白いデータも伺えるようです。調査結果については、近く冊子をつくる予定であります。ご期待ください。

三 國際化の取り組みの進展

大学間協定以外に、本部局と学術交流協定を結んでいるのは、英國、韓国、ロシアの三大学の部局ですが、リーズ大学教育・社会科学、法学部（英國）、公州大学校師範大学（教育学部）（韓国）とは昨年、引き続き積極的に交流を重ね、そのために期間を延長する協定書を部局長同士で取り交わしました。学生・院生の中には、大学間協定等を

取り組みとしては、卒業生へのアンケートを実施して、教育学部で学んだことが社会に出ていかに生かされているのかのデータを集め、その内容の分析を行つきました。面白いデータも伺えるようです。調査結果については、近く冊子をつくる予定であります。ご期待ください。

四 人事往来

二〇一二年三月には、二国（北京師範大学）の三大学の一五人の学生と本部局の学生一〇人とのこのプログラムの参加者となっています。学生相互の交流と学びあいを通して、友愛と信頼の精神が育っているのは、好ましいことといえま

利用しての留学をめざす者

も少なくありません。また単独に海外の大学に学習・研究を行うために留学する事例も多いとはいえませんが、確実に毎年実績を積んでいます。

受け入れの面では、正規の学部入学、大学院入学以外に、北海道大学短期プログラム（HUSTEP）を利用して、本部局に指導教員を求める海外の学生がいます。昨年に引き続き本年度もそうした学生を受け入れると共に、部局教員が英語による授業を実施しています。また、国の予算補助を受け、外国の大学の学生と本部局の学生が相互に派遣、受け入れを行うSS（Short stay）& SV（short visit）プログラムを昨年から実施しています。昨年は韓国の一大学（高麗大学）との実施でしたが、今年は韓国（高麗大学、ソウル大学）・中國（北京師範大学）の三大学の二五人の学生と本部局

の学生一〇人とのこのプログラムの参加者となっています。学生相互の交流と学びあいを通して、友愛と信頼の精神が育っているのは、好ましいことといえま

す。

近年、北大は国際化に力を入れており、国際本部の設置や、海外オフィイス（北京、ソウル、ヘルシンキ、ザンビア）の設置、大学間協定、部局間協定の拡大、様々な交流事業の促進の努力を行つています。留学生も北海道大学全体で一四〇〇人を超える人数になつてきました。本部局においても、このような国際化事業に協力するとともに、研究・教育を地球時代にふさわしいものに変えるべく努力しています。現在、本部局には、五八人の留学生学部・大学院二〇一一一一二）が学んでいます。国際化の取り組みについては、今後も深さと広がりをもつて、本部局においても追求したいと考えています。

五 同窓会への期待と感謝の御礼

北大教育学部・大学院卒業、終了されて社会に羽ばたかれ、様々な地域、職域、場所で活躍されている同窓生の皆様には、大いに励まされています。また、毎年の学位授与式（学部、大学院）後の、祝賀パーティには、同窓会から心のこもった祝辞や支援を頂いています。

田智准教授が着任されました。子ども発達臨床研究センターに所属されますが、特別支援教育にも多くの貢献が期待される若手の心理学研究者です。

部局の事務部は、今年は大幅な入れ替わりがあり、嘱託、事務補助の方を含め、庶務、教務、会計、図書の一一人の内、事務長をはじめ、七人が新たに本部局に着任されました。教職協働申上げる次第です。

最後に、今年は、一〇月六日に、北大全體で初めて、午後六時（1）教育学部同窓会総会、午後六時（2）親睦会（一〇月六日（土））に、さる六月一二日（火）に、北海道大学の近くのアスペンホテルにおいて、北大連合窓会の今年度総会が開催され、教育学部同窓会から会長の竹田と齊藤彰幹事長が出席しました。

そこで、第一回ホームランニングデーが企画されて、北大連合窓会共催で、一〇月六日（土）一〇〇一四・〇〇に北大で行われ、セレモニー・

なお、佐藤教授は、特任教

授として一年間さらにお力を貸して頂いています。田中康雄教授は、子ども発達の誠意ある職務執行に感謝をしたいと考えています。

あつたことが分かり、またそのように考えたことを恥じる次第です。職員の方々の誠意ある職務執行に感謝をしたいと考えています。

あつたことが分かり、またそのように考えたことを恥じる次第です。職員の方々の誠意ある職務執行に感謝をしたいと考えています。

大学を久しぶりに訪れてみようと思われる同窓の方々、大歓迎です。どうぞ、ようろしく御願いいたします。

ありがとうございました。同窓会と同じ日になります。



同窓会長
竹田正直

（1）教育学部同窓会総会、
午後六時

（2）親睦会（一〇月六日（土））

講演・懇談会をひらき、卒業生に自由に参加していた
したことになりました。

これに先立つて六月四日

(月)に開催された北大教育学部同窓会役員会に、学部から姉崎洋一学部長、水野眞佐夫教授、近藤健一郎准教授も参加され、教育学部・教育学研究科・教育学院としても、第一回ホームカミングデーに全面的に協力して、学部主催で、一〇月六日(土)一四・〇〇と一七・〇〇 同窓生交流コーナーの開設することになり、とくに、一五・〇〇と一六・三〇 卒業生三名による講演会を企画していることでした。

そこで、同窓会も協力して教育学部同窓会総会・懇親会を第一回ホームカミングデーの一〇月六日(土)午後六時から、卒業生が経営するレストラン「満漢樓」(札幌市中央区南四西五、H-1五DC修了 劉長征さん経営)で開催することになりました。

昨年は、会報の発行が遅れ総会に出席希望の方にご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。その反省に基づき今年は、早期の会話を耳にしたときに感

ご案内に努力いたしました
ので、多くの方にご出席いただきたいと思います。

じました。
昨年度から続いていると
いう道外勢の増加の傾向は、

どんな要因があるのでしょ
うか？もちろん、姉崎学
部長は、高等教育研究の専
門家ですから自らも、また、

度入学者数は、二六〇〇名
(うち女子学生七七四名、
ただし募集人員は、二四八
五名で合格者は若干多い)
でしたが、そのうち、道外
が五五・九%で、道内が四
二・六%、その他(認定、
高専、帰国学生など)一・

五%でした(『北大時報』、
六九七号、平成二四年四月、
一〇七頁)。つまり、道外
からの入学者が一三・三%
も多くなっています。かつ
て、道内と道外は、学部に
よっては違いがあつても、
全学的には、ほぼ、半々と
いう時代から見ると道外勢
の急増が印象的です。

この実感は、私が住んで
いる札幌市北区の町内会の
会合で、「道内に住む孫が
北大を受けたけど落ちて浪
人するそうです。高校の先
生の話では、これまでだと
入れたけど、今年は道外受
験者がふえて北大のレベル
が上がったそうです」とい
う会話を耳にしたときを感じ

可能性と細密かつ多数回の
選択可能性が学生に与えら
れているようです。今年度
入学学生の例では、二四八
五名の募集人員のうち、文
系一〇〇名と理系一〇二七

名を総合入試で選抜し、入
学後は、文系、理系の二つ
の教育課程で教育し、半年
後に成績を通知し、一年後
に、志望と成績で、まず八
〇%の学生の進路を確定し、
第二次志望で全員を確定し
てゆきます。入学時の文系、
理系の枠を超えての進学
部・学科も可能です。平成
二三年度の移行振り分けで
は、実際に、文系から理系
へ四名、その逆が二名あつ
たとのことです。

このような「総合入試」
は、高校時代に学部・学科
の志望決定を求められる学
部別人試にとまどついた
高校生を捉えるとともに、
専門化とともに学際化、複
雑化、異文化理解、総合化
など現代科学が若者に本質
的に希求するものをシステ
ム的に内包していたことに
よつて、全国的に注目され
たのでしょうか。

で六一・〇%です。「総合
入試」による合格者をみると
と道内より約一二一%高く
なっています。

「総合入試」以外の従来
の学部・学科別入試の合格
者の道外比率は、北海道の
食の研究にかかる獣医学
部九一・九%、農学部八
三・三%、水産学部七〇・
六%です。理学部や薬学部
も道外比率が高い。逆に、
医学系では、道外比率は低
いのです。医師養成の医学
系で道外比率が四〇・二%、
看護師養成などの保健学系
は道外比率が二〇・九%で
す。歯学も道外比率が三
九・五%と低いのです。

文系で道外比率がとくに
低いのは、経済学部の三
七・三%で、法学部四五・
六%、文学部四九・四%で
道外比率がわずかに低い。
教育学部は、なんと、道内、
道外ともまったく同じで、
四六・九%で、その他が
六・三%です。

八時から、札幌アスペンホ
テルで開催されました。
北大連合同窓会の構成は、
学部等同窓会が一九同窓会、
地区同窓会が二六同窓会で
す。学部「等」というのは、
全ての学部同窓会のほかに、
大学院や看護学校や寮の同
窓会などが含まれているか
らです。また、地区同窓会
の多くは、都府県単位の同
窓会ですが、さらに、道内
のいくつかの地区や外国の
同窓会も含まれています。

都府県単位の同窓会が存
在するところを上げておき
ますので、そこにお住まい
の方は、連絡を取つてください。
多くのホームページを持つて
おりますが、私どもに尋ねてくれても結構で
す。また、都府県単位の同
窓会がまだ出来ていないと
ころでは、他学部のO.B.G
とともに結成の努力をして
下さい。すでに存在するの
は、宮城、福島、茨城、栃木、岩手、東京、新潟、関
西、京都、鳥取、岡山、広島、香川、愛媛、高知、九州・山口、佐賀、宮崎、大分、鹿児島、旭川、函館、十勝、中国、台湾、韓国、
ブラジルです。なお、中に

(2) 北大合格者で道外勢急増、教育学部は？

母校、北大の平成二四年
(うち女子学生七七四名、
ただし募集人員は、二四八
五名で合格者は若干多い)

が五五・九%で、道内が四
二・六%、その他(認定、
高専、帰国学生など)一・

五%でした(『北大時報』、
六九七号、平成二四年四月、
一〇七頁)。つまり、道外
からの入学者が一三・三%
も多くなっています。かつ
て、道内と道外は、学部に
よっては違いがあつても、
全学的には、ほぼ、半々と
いう時代から見ると道外勢
の急増が印象的です。

この実感は、私が住んで
いる札幌市北区の町内会の
会合で、「道内に住む孫が
北大を受けたけど落ちて浪
人するそうです。高校の先
生の話では、これまでだと
入れたけど、今年は道外受
験者がふえて北大のレベル
が上がったそうです」とい
う会話を耳にしたときを感じ

(3) 北大連合同窓会と教育学部同窓会

四年度評議会・幹事会合同
会議が、前述のように平成
二四年六月一二日(火)一

で六一・〇%です。「総合
入試」による合格者をみると
と道内より約一二一%高く
なっています。

「総合入試」以外の従来
の学部・学科別入試の合格
者の道外比率は、北海道の
食の研究にかかる獣医学
部九一・九%、農学部八
三・三%、水産学部七〇・
六%です。理学部や薬学部
も道外比率が高い。逆に、
医学系では、道外比率は低
いのです。医師養成の医学
系で道外比率が四〇・二%、
看護師養成などの保健学系
は道外比率が二〇・九%で
す。歯学も道外比率が三
九・五%と低いのです。

文系で道外比率がとくに
低いのは、経済学部の三
七・三%で、法学部四五・
六%、文学部四九・四%で
道外比率がわずかに低い。
教育学部は、なんと、道内、
道外ともまったく同じで、
四六・九%で、その他が
六・三%です。

このように「総合入試」
は、高校時代に学部・学科
の志望決定を求められる学
部別人試にとまどついた
高校生を捉えるとともに、
専門化とともに学際化、複
雑化、異文化理解、総合化
など現代科学が若者に本質
的に希求するものをシステ
ム的に内包していたことに
よつて、全国的に注目され
たのでしょうか。

八時から、札幌アスペンホ
テルで開催されました。
北大連合同窓会の構成は、
学部等同窓会が一九同窓会、
地区同窓会が二六同窓会で
す。学部「等」というのは、
全ての学部同窓会のほかに、
大学院や看護学校や寮の同
窓会などが含まれているか
らです。また、地区同窓会
の多くは、都府県単位の同
窓会ですが、さらに、道内
のいくつかの地区や外国の
同窓会も含まれています。

都府県単位の同窓会が存
在するところを上げておき
ますので、そこにお住まい
の方は、連絡を取つてください。
多くのホームページを持つて
おりますが、私どもに尋ねてくれても結構で
す。また、都府県単位の同
窓会がまだ出来ていないと
ころでは、他学部のO.B.G
とともに結成の努力をして
下さい。すでに存在するの
は、宮城、福島、茨城、栃木、岩手、東京、新潟、関
西、京都、鳥取、岡山、広島、香川、愛媛、高知、九州・山口、佐賀、宮崎、大分、鹿児島、旭川、函館、十勝、中国、台湾、韓国、
ブラジルです。なお、中に

は、同窓会の名称をつけず
に、「○○エルム会」と名
づけているところも九地区
あります。

北大連合同窓会の活動の
主要な内容は、一）北大カー
ド加入者増加推進（現在、
一八八八名、昨年度五八八
六二七円の北大への還元）、

企業研究セミナー（就職説
明会）を開催して、参加企
業（四八四社）から参加費
を得て、それを基本財源と
して、北大フロンティア基
金へ昨年度は、一〇〇〇万
円を寄付し、母校の研究教
育活動を支援しています。

また、地区同窓会の活動支
援として送料支援（一会员
二〇〇円上限、総額七七九
二五八円）をしています。

教育学部同窓会は、昨年
度の活動として『同窓会会
員名簿、平成二三年度版』
の改訂に取り組み本年四月
二七日に発行することが出
来ました。「個人情報」管
理の厳しい時代を反映して
空白も多くありますが、齊
藤彰幹事長が、学部の協力
を求めるながら努力してくれ
ました。購入希望者は、齊
藤彰幹事長にご一報下さい。

五年前の版とみくらべて
みますと、卒業期の初めの
方などで、ご逝去された同
窓生の多いことに気づき
ます。心からご冥福をお祈
りいたします。

同窓会役員のなかでも、
副会長だった伊藤静代さん
がお亡くなりになりました。
永く、札幌医科大学に勤め
られて、言語治療の新しい
研究・治療分野を開拓され
ました。定年ご退職後は、
旭川大学に勤務され、ご多
忙の中、同窓会役員会や總
会に可能な限りご出席下さ
いました。私の個人的な想
い出でも、北大教育学部の
留学生が母国に戻って就職
し、日本人と結婚し子ども
も生まれましたが、言語發
達で懸念があつたときに相
談にのつていただき、伊藤
静代さんの見解をつたえ、
留学生夫妻は安心し、そ
の後は順調に発育しています。

また、つい最近も、以前、
札幌に住んでいた方で道外
の方から、子どもの言語障
害がいの治療で伊藤静代さん
に大変お世話になり感謝し
ているとのこともお聞きし
ました。

いつも、微笑をたやさず
物静かなお人柄そのものが
周囲に癒しをあたえてくだ
さい。

さいました。多くのひとび
と、とくに、子どもたちの
感謝とよろこびの声をきき
ながら安らかにお休み下さ
い。

(4) 教育学部同窓生の油絵
個展に感動して

教育学部の卒業生には、
多くの優秀な方々が、それ
ぞれの分野で活躍しており
ますが、先日の北大教育学
部同窓会役員会で、幹事の
長屋良行さん（北海道庁定
年退職）から、同級生の武
田光弘さん（NHK定年退
職）の個展があることを聞
き、早速、二〇一二年六月
二一（木）、札幌時計台ギャ
ラリーでの初日、オープ
ンと同時に見てきました。N
HK定年ご退職後、パリに
住み、たくさんのパリの街
かどやヨーロッパ各地を描
いており、日本美術家連盟
名会員にも推挙されていま
す。

哀愁に満ちた素晴らしい
絵が迫ってきました。私は、
特に雨のパリの街角、雨の
水溜りに映る赤い傘の絵に
感動しました。武田光弘さ
んの「3・11」への想いも
教育研究の全国的リーダー
となり、まさに、教育学部
の創立理念のあらゆる学問
のさらには、専門分野からきて社会
のささらに落ち着いた憂いも
含む風景を切り取り、見る
ものの心に刻み込んでくれ
ました。

早くにご逝去された武田
光弘さんのお父さんが、昔、
札幌二中（現、道立札幌西
高校）の教師として絵を描
いていたとのことで、数少
ないご尊父の絵も展示され
おりましたが、画風も似
ており、昔風には「血筋」、
今風には「遺伝子」の継承
性を感じました。

武田光弘さんの札幌の個
展には七〇〇人が、郷里の
美唄市での個展には一〇〇
〇人が訪れたとのことです。
武田光弘さんの街に住む
人々への柔らかい優しいま
なざしに触れながら、私自
身が、学生時代、茨戸でボー
トを漕いだあと、札幌市内
の青年美術家協会でデッサ
ンや油絵に情熱を注いだ
日々を思い起こしました。

所仲一教授も定年退職で
した。北大入学後から教育
学部を目指し、教育史・比
較教育学研究室で世界の教
育、とくに、一次資料の存
在ともかかわりロシアを対
象国として教育史研究を行
い北大教育学部の第一号の
教育学博士学位を取得され
ました。その後、三二年間
にわたり教育学部の教員と
してポリテクニズム教育の
歴史的研究を中心に行われ
ました。その間、教育学部の教員と
してリードし、学生、院生、留
学生の教育、そして、学部
運営にあたり、最後は、教
育学研究院長・教育学院院
長・教育学部長として学部

および全学改革に貢献され
ました。残念ながら、定年
退職最終講義と祝賀会は、
全国の日本エーラシア協会
会長として総会職務のため
出席できなかつたのは残念
でした。ところで、所さん
の最後の三つの「長」がど
のような関係にあるかは、
か分かりかねると思います
ので、一〇月六日の教育学
部同窓会にご出席され、理
解を得る機会としていただ
ければ幸いです。

(一〇一二年七月記)

二・三の研究室（鈴木・砂沢研究室はまとも、黒田先生のは城戸学部長室に至る廊下様の所）、旧土木専門部跡（建築工学が残留）に教育社会学系が三室、キャンパス南端の民家風建物に教育心理学系が、それに体育・音楽専攻と散在していた。

授業も極めて間欠的で、のんびり図書室でだべつていた小島忍（前同窓会幹事長）と私ともう一名が、一見教育風の高山武志（二期生後に第十六代学部長）に誘われ、生活教育研究室と

札のかかった籠山京先生（後に第五代学部長）の部屋に連れ込まれた。そこには伊藤博（後に教授）現籠山ゼミの会長老も院生として居られ、控室として使つてもいいということで、漁村（熊石）や農村（和寒）調査などの手伝いをしたものの、先生の温厚なことを好いことに勝手な時間を過ごさせていただいた。

先生は医学博士で労働衛生・家庭生活・貧困家庭・貧困児童など広範囲の調査研究をしておられ、茫洋として掴み難い印象が残つてゐるが、雑談には、生活保障の現物支給から現金支給への変遷や、保護基準の設定が如何に難しいか、そのボーダーライ

ン層をどうするかというような話題が多かつたようだ。現在の様に生活保護（住居・医療を含む）給付の方が、眞面目に働いている低賃金労働者の所得や、その結果受けている低額年金より高い状況をご覧になつたらなんと云われるだろうかとも思う。

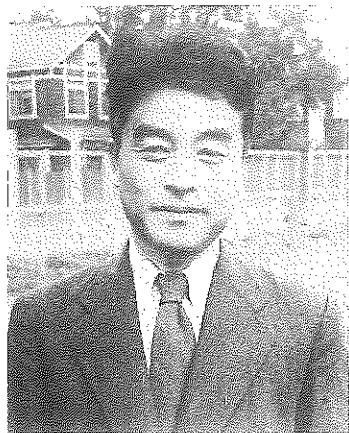
或る時、隣室の留岡教授（遠軽家庭学校長兼務）から大量の鶏を戴いたとかで、新婚間も無い伊藤邸で鳥の丸焼きの馳走に与かり、年末には農協の寮での先生主催のすき焼きパーティーで「酒を飲んでも乱れないのは好いね」と言われながらも大いに盛り上がり、帰りには千鳥足なるものを初めて経験した。

不思議なことに先生の講座の助教授は足が速い。私が移行した時の菊野正隆先生はその年体育専攻へ移ら

れ、翌年からの石田忠先生（後に第五代学部長）の部屋に連れ込まれた。そこに江口栄一先生は一年半で日本女子大へ、といった具合であった。

学部の組織が旧土木専門部跡に集中するようになること、学生院生共に夫々控室を与えられ、研究室に屯すことは無くなつたが、ゼミは夫々の教官室で行われた。石田助教授が三十一年の学生院生共同の演習で「夏休み明けに山田盛太郎の日本資本主義分析をやる」から読んでおくように」と言われ、休み明け早々に「読みなんだ」と来たので、「読みましたけど、あれはヘンですよ」と中身は忘れたがかなり捲し立てた記憶がある。

先生は何も言われなかつたが演習にそれを使われる事は無かつた。今にして思えば、若し「北大の教育学部で演習に「分析」を使っているそうだ。それも批判的な立場でね」なんて噂が流れでは困ると思われたからであろう。なにしろ当時の風潮が、インテリはマルキストであることが当然とされる時代に入っていたのである。この頃「分析」の信奉者になった学生の堤（現



S 32年頃の籠山先生



S 32年頃の高木先生



S 32年頃の石田先生



「第6回籠山ゼミの会」=内山さんの欠席が残念でした (2012.6.16)

鎌田）とし子は後に東京女子大の教授（現旭川大学教授）になっている。

先生は厳しく指導されるタイプで無かつたせいか、習ったことはあらかじめ忘れてしまつたが一言だけ覚えている。場所は当時の学部裏の黄褐色の建物、一方に柔道場、他方に座学教室があり、その西側の方、道

路を挟んで傾きかけた木造の体育館が見える部屋である。講義は社会調査か社会統計関連のもの、教科書はキュビリエの社会学入門、「諸君たちはやがて教育の中には教員をはじめとして教育の専門家として世に出る。世

たちははどう違うか。それは諸君たちがマッセで教育は数多い。それらと諸君を観ることが出来ることで

の体育館が見える部屋である。講義は社会調査か社会統計関連のもの、教科書はキュビリエの社会学入門、「諸君たちはやがて教育の中には教員をはじめとして教育の専門家として世に出る。世

たちははどう違うか。それは諸君たちがマッセで教育は数多い。それらと諸君を観ることが出来ることで

ある。」と言われた」とである。

近年少年の犯罪特に凶悪犯が多くなったと嘆く向きが多い。しかし時間軸を広げ戦前からの犯罪統計を調べると、そこには多くの一般犯罪はもとより凶悪犯も数多い少年犯罪が記されており、現在はむしろ減少傾向だという。つまり、視野を広げると個々の現象に惑わされない判断が出来るということであろう。現代は決して末世では無いのである。

籠山先生は昭和四十四年に上智大学へ去られたが、それまで多くの学生が先生の門をくぐったものの、現在明らかに籠山ゼミ卒業と判明している者は多士済々の二十四名、最後の弟子は旭川大学学長の山内亮史である。

夫婦となつています。北大出身はざらにいますが、身体発達ゼミ出身者に会うことはまずないし、夫婦にならぬことも稀でしょう。夫は卒業式も山下よりして卒業証書すら持つてないくらいなので、三年在籍しても学部内でも姿を見ていません。妻は普通の大学生活を送つたので教授や学部の知り合いが多い方ではないでしょうか。

僕らの教官は既に退官された中川先生、須田先生。中川先生といえば喫茶ブランジルと卓球。須田先生といえば不気味な絵が描いてある手作教材の思い出。誰しも含み笑いをするところでしょうか。

現在、夫は滝川市福祉事務所、妻は老人ホーム勤務とお互い福祉分野で働いています。今この間にいる一人のための仕事です。

福祉という甘美な言葉に幻滅する人、人間嫌いになる人も多い中、教育学部の

就職してから多くの学術経験者の方々とお話しする機会がありましたが、「じゃあ、どうすればいいんですか?」と言いたくなる事多々。一方、身体発達ゼミは実生活に貢献してなんぼといふ感じだった記憶がかすかに残っています。学問はそんな薄っばらなものでないでしようが、社会貢献までの過程が早いという言い方が適切かもしれません。体力善用の精神。

現在、夫は老人ホーム勤務で、夫婦そろって福祉の仕事に就いているのかもしれません。夫は学校行つていませんで、娘は二歳になります。パンカラな北大に入学させたい気もしますが、学生気質も変わったのでしょうかね。大通公園の噴水に登つたり、ストーム組んだりしているのでしょうか。杉山敏彦(平七卒)、中間素子(平一二卒)

三年のときのゼミは、月曜日が高村先生で武谷三男編の『自然科学概論』。この本に入る前、岩波の哲学講座の牧二郎「科学論の哲学的諸問題」の論文が取り上げられました。木曜日は鈴木秀一先生の「思考と言語」。ピアジェやダヴィドフの論文なども取り上げられました。

教育学部卒の二人

1955年卒 身体発達

不思議なめぐりあわせで、身体発達ゼミ出身の二人が



老人ホーム入居者を被験者に森林浴とストレスホルモンとの関係を測定中(素子)

ゼミの思い出

72年卒 学校教育ゼミ
寺岡英男
(福井大学)

ゼミの後輩に当たる高山

講座の牧二郎「科学論の哲学的諸問題」の論文が取り上げられました。木曜日は鈴木秀一先生の「思考と言語」。ピアジェやダヴィドフの論文なども取り上げられました。いまフィンランドの研究者

何かに書いてあった「we like humans」は意味深な言葉だと今にして思います。なんだかんだ言つて青二才の学生にはキヤッチーな標語程度にしか目に入らなかったと思いますが、I like humans でありつづけるのは中々大変。気付くのは卒業後ですが、それをモットーにするなど粹だつたのだなと感服している今日の頃。結局、we like humans とふうことでのための仕事です。

ゼミの所属については、humans とふることでのための仕事です。夫婦そろって福祉の仕事に就いているのかもしれません。夫は学校行つていませんで、娘は二歳になります。パンカラな北大に入学させたい気もしますが、学生気質も変わったのでしょうかね。大通公園の噴水に登つたり、ストーム組んだりしているのでしょうか。杉山敏彦(平七卒)、中間素子(平一二卒)

三年のときのゼミは、月曜日が高村先生で武谷三男編の『自然科学概論』。この本に入る前、岩波の哲学講座の牧二郎「科学論の哲学的諸問題」の論文が取り上げられました。木曜日は鈴木秀一先生の「思考と言語」。ピアジェやダヴィドフの論文なども取り上げられました。いまフィンランドの研究者

教育学部難感

「悪い起こせば

冷や汗の日々」

,72年卒 教育方法学

村上 昭男

教育学部を卒業したのは
一九七二年の春は弥生の頃、
それから既に四〇年の歳月
が流れ去りました。記憶を
たどり、あれこれ思い巡ら
せて、当時の事は遠い記
憶の彼方に霞み、さっぱり
要領を得ません。細部は間
違いだらけの思い出ばなし
になりそうですが、しばらく
お付き合い願います。

高校生の頃は理数系コ
ースに所属し、工学系の大学
を目指していました。ところ
が、浪人中に古本屋で偶
然手に取った宗像誠也著
「私の教育宣言」(岩波新書)

を読んで、これが教育学と
の運命的な出会いとなり、
たちまち進路を変更してし
まいました。

宗像先生は当時東京大学
教育学部で教育行政学の教
員として、「人間の尊さを
打ち立てる」教育の確立を
目指し「理論と実践の統一」
に精力的に取り組んでおら
れました。教育を民衆支配

の道具と考える権力側の教
育觀を鋭く批判し、教育の
自律性を強調する宗像先生
の凜とした姿勢に感激し、

微力ではあつても自分も民
主的な教育行政の一翼を担
いたいと決心したのがそも
その始まりでした。

さて、受験校を決める段
になつて、東京大学は遠く
及ばず、宗像先生の退官も
迫っていたため、方々探し、
北大に宗像先生の薰陶を受
けた先生がいると知り、受
験することを決めました。

入学後は、当時、教育学部
は教養部の成績には関係な
く、留年しなければ進級で
きると聞かされていたので、
井伏鱒一、アンドレ・ジッ
ルドなどの小説、マルクス、
サルトルなどの哲学書を文
字どおり乱読し、惠迪寮で
は自治会活動に参加し、進
級ぎりぎりの成績で教養部
を通過、無事教育学部に進
級を果たしました。

私が在学した一九七〇年
前後は、学園民主化運動の
只中でした。教育学部でも
例に漏れず、一時、全共闘
系の学生によつて校舎を封
鎖されましたが、民主化を

求められた直後であつたこ

ともあり、学問に真摯に取
り組もうとしている学生が
多くゼミ活動は活況を呈し
ていました。

所属ゼミは当然「教育制
度」ゼミのはずでしたが、
またまた突然に方向を転換
して「教授学」ゼミに所属
しました。生來の理系の血
が騒いだのか、理学部出身
の高村泰雄先生の「自然科
学概論」(武谷三男編集)

ゼミに鞍替えしてしまつた
のです。どうも私の行動は
唐突で一貫性がなく困った
ものです。このゼミでは、
科学思想史を手始めに現代
自然科学の諸課題を学ぶこ
とで、科学教育の方向性を
探ろうとしたのですが、私
には自然科学に対する基礎
的な知識が不足しており、
不消化のまま終わつてしま
つた印象があります。科
学発展の論理学である武谷
三段階論、関数の連續性に
関するエー論法等々、と
ても理解できる水準にはあ
りませんでした。

四四年目のゼミはソ連邦の
心理学者ヴィゴツキーの
「思考と言語」でした。ヴィ
ゴツキーは祖国ソ連邦では
抹殺されたり、再評価され
たりして政治的に翻弄され
ました。

私が在学した一九七〇年
前後は、学園民主化運動の
只中でした。教育学部でも
例に漏れず、一時、全共闘
系の学生によつて校舎を封
鎖されましたが、民主化を

求められた直後であつたこ
ともあり、学問に真摯に取
り組もうとしている学生が
多くゼミ活動は活況を呈し
ていました。

アメリカで認知心理学の研
究者から高く評価され、最
近は日本でも再びブームに
なつているようです。この
ゼミでスイスの心理学者ピ
アジェに出会つたことも忘
れられません。ピアジェの
発達理論は、基本的には構
造主義ですが、難解な彼の
理論を唯物弁証法の概念と
対比しつつ学習することで、
少しは理解が深まつたので
はないかと感じています。

卒業後は旭川市の教育委
員会に職を得て、初心に返
り、教育行政に携わる事に
なりました。ところが、革
新市政下であつても地方教
育行政の現場は、憲法も教
育基本法もまるで存在しな
い不思議な世界でした。地
域の有力者が「不当な介入
(支配)」をしてくること
などは日常茶飯事で、人事
異動で渋々外局の教育委員
会にやつてきた職員たちは、
本序に戻れる日を折り重ね
て待つてゐる有様でした。

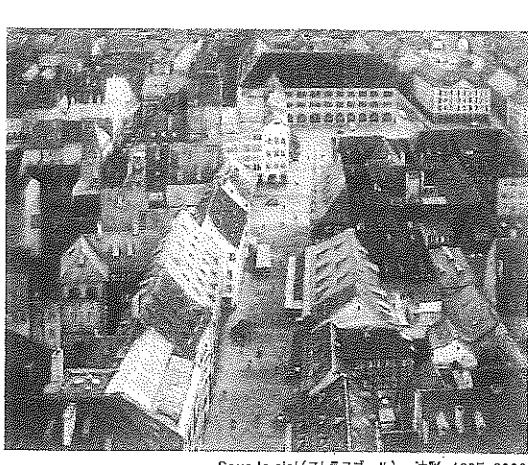
「人間の尊さを打ち立てる」
教育は「夢のまた夢」、忍
耐を強いられる日々となつ
てしましました。

おぼろげながらも記憶の
いかと感じてゐる。そんな
恵まれた環境であるからこ
そ、暇を見つけては構内で
ジンバや飲み会をたくさん
したり、長期休みには学年
で集まつてキャンプをする
なんでもできたのだと
感じている。今考えれば、
大学時代は時間だけはたく
さんあって、とても幸せな
時間だったと思う。

また、自分の興味や関心
が近い多くの友人との出会い
が大きな財産である。特に
に所属した教育臨床心理学
ゼミでは、自分の知的好奇
心が大いに刺激され、心理
学という学問の奥深さと面白
さを感じることができた。
卒論や修論の執筆において、
先生方や先輩方の力を借り
つつ、仲間と励まし合いな
がら乗り越えた経験は、な
かなか得難い貴重なもの
だった。私自身は、教育学
部という広い意味での「人
間・教育」を研究対象とし
た学部に入り、いろいろと
学びを深めていく中で「人
間・教育」という対象が非
常に興味深い一方で、一筋
縄では理解することが難し
いと気つけたことが、ある
意味一番の学びなのかもし
れないと感じている。

さて、私の学年の近況で
あるが、日本全国津々浦々、

様々な分野で活躍している
という話が少しずつ聞こえ
てきてる。それはきっと
教育学部で学んだことを、
それぞれのフィールドで形
を変えて生かしている証拠
であろう。私自身も中学校
に勤務し始めて四年目にな
る。ようやくこの仕事にも
慣れ始め、大学や大学院の
時に研究したことを、少し
でも現場で関わる生徒達の
成長に生かすことができな
いかと戦闘苦闘している
真っ只中である。ともに教
育学部で学び、各分野で活
躍している仲間達に刺激を
受けつつ、これからも精進
していきたい。



Sous le ciel (ストラスブル) 油彩 100F 2008



光の方へ(パリ・モンマルトル) 油彩 6F 2011

武田光弘個展～僕のいた時間～

この10年パリを拠点にフランスやイタリアの風景を描いてきました。
長くメディアの世界に居た私ですが、絵は通奏低音のように、心の
深い所にあって、いつか帰り着く所だと思っていました。色々な事が
あった人生ですが、団体に属さずひとりの異邦人として自由に無心
に描いております。ご高覧賜れば幸甚です。

武田光弘(日本美術家連盟会員)

<略歴>

1938年札幌生まれ。2歳の時札幌2中の美術教師だった父と母をなくす。
1956年美唄東高卒。1960年北大卒。NHK入局。プロデューサーとして
多様な番組やイベントを制作。2002年から2003年パリ滞在。帰国後も
毎年数ヶ月パリを拠点にヨーロッパ各地を取材。個展を中心に作品を発表
している。無所属。

六〇年安保華やかなりし
半世紀前、世情はなお安定
せず就職難の厳しい時代で
あつた。教育社会学ゼミ出

人生を人の三倍以上
に楽しむ男
武田光弘君
ジャーナリストから
芸術家に

60年卒 臨床心理
長屋良行

北海道教育大学 同窓会

身の鬼才・武田光弘君は難
関を突破して天下のNHK
に入り、専ら教育・芸術文
化・教養番組の制作企画等
を担い、メディアの中で広
範かつ独創的な活動実績を
上げていくのを驚異の思い
で垣間見ていた。放送現場
から国内外の国際的催事や
街づくり・都市計画のコー
ディネーターを、埼玉県他
幾つかの主要都市で行うブ
ロジェクトのリーダーにな
なつたり。その経過状況は
本稿末尾の略歴に詳しい。

断片的な記憶と部分的資
料しかしながら、そんなマス
ゴミ人の彼がいつしか芸術
家に変身していた。「いま
パリに来て絵を描いている
んだ」とか「帰国第一回の
開展に先立ち道立近美の
相馬秋夫館長(北大法S.41)
を訪ね、併せて同館で特別
展開催中の阿部典英氏(造
NHK O.B.会会長)。ゲ
スト挨拶はこの為東京から
駆けつけた今野勉氏(夕張
出身、東北大卒、わが国放
送界の重鎮、テレビマンユ
ニオンの創設者のひとり)。
モアを交えた会話や電話に
二~三年おきに接してきた。
そして、この四月末「初め
て故郷・札幌と美唄で個展
をやるんだ」と連絡があり、
まもなく色鮮やかな油絵二
点の載ったハガキが届いた。

この知らせに接し俺のや
れることは何もないなど自
覚しつつも、近くのコンビ
ニで白黒ながら三〇〇枚程
コピーを作り、あらゆる機
会・公私の会合を捉えては
観展を要請した一ヶ月程度で
あつた。

進行は元NHK札幌局の
七戸恒俊氏(北大法S.38、
NHK O.B.会会長)。ゲ
スト挨拶はこの為東京から
に竹田正直同窓会会長(S.34
教育史・比較教育学、研究
員)が参加。後日、長峰
憲二君(S.35産業教育訓練、
元家庭裁判所調査官)も来
場。

特筆すべきは、開場一番
(S.32産業教育訓練、元札
幌市職員、市登山岳会会長)
に声がけをし、夜は武田夫
妻を交えて数人での夕食会
も。

美唄会場(アルテピアツ
ツア美唄、六/二一~七/
一)では高橋市長はじめ関
係者・同窓生多数が参加し
て、オープニング・パー
ティ。別の日彼の「アーテ
ィスト・トーク」も盛会
裡におこなわれた。道新に
は「故郷に『絵』を飾るし
初の個展」と大きく報じ
られ、各紙も取り上げてい

た。美唄会場には、井上蓉子さん（S37臨床心理、元埼玉県立精神衛生センター）も駆けつけてくれた。

武田君は、会場設営・撤収作業も自ら汗を流しての陣頭指揮、とても七〇歳代とは見えず、メタボとは無縁の瘦躯白髪でスリムな画家が目の前にいた。美唄を含め、数回会い最後は北大近くの喫茶店で夫人を交え長時間語り合い、いつの日かの再会を約し、貴重な労作「昼夜がりのゲットー」（エネツィア、06年5月）（美術年鑑によれば数十万円か）を惜しげもなく恵贈された。

この間も行動的な男であつた。雨の小樽で墓参、美術の関係者他多數に会い、別の日増毛の民宿「ほり」から「すごく良い処だぞ」と褒めの電話があり、これから神田日勝記念館に行くと。

かくして札幌会場は七〇〇人、美唄会場一〇五六人の来場者を得た。道内では画家としての知名度もまだ余り高くない武田画伯のこの突然の個展開催に、かくも多数のご来館を得たこと

は意外であり、誠に欣びにたえない。

武田君が二歳の時に、札幌二中（現西校）の絵の教師だった父・忠雄氏が昭和一五年、三七歳で夭逝（まもなく母・登美子さんも二七歳で共に豊浦で病死）。

以後、姉二人と美唄の親の実家で育てられた。美唄東校では文芸部長、北大でも黒百合会他の絵とは無縁の生活だった。かねて、その話は聞いていた。

札幌市内（南一五西一三）にギャラリーのある彫刻家、故本田明一氏（一九一九～一九九一）は、二中での恩師であった忠雄氏を尊敬の念をこめて書いている。

「作品の多くは水彩画で……油絵の作品は少ないが、当時北大の総長であつた南先生の肖像は優れた作品といえよう。南先生も大変気に入られ、夫人的肖像も残されている。」

この父君・忠雄氏が描いた第六代・南鷹次郎北大総長の肖像画は北大のどこかに所蔵されている（甫夫人の肖像画はいづくに）。

また、本田明一氏も若き日、武田忠雄先生の強い勧

めで芸術家の道に進んだといふ。

ともあれ、武田君はサラリーマンになつて一〇年程、三〇代の前半位までは芸術

家になろうという意識は無かつた様だが、DNAなどのパリの街そのものに触発されたのか、「いつかあの街に住み、絵を描いて暮らそう」という開眼があつたらしい。

その三〇年後、メディア関係の仕事から解放されるや直ちに渡仏、画家修業二年後の帰国第一回の個展を東京で開催、以後毎年西欧の各地を描きながら個展を開いてきた。今回の故郷北海道での個展は、その十年間の総決算かまたは今後の飛躍への重大な契機となるのか。それらは本人をして語らしめよう。（少し長くなるが本人の文章を引用する。）

「冬のサーカス」（帰國第一回個展・巴里／冬・春・夏・秋・挨拶文より二〇〇四・五・一）

かくして札幌会場は七〇〇人、美唄会場一〇五六人の来場者を得た。道内では画家としての知名度もまだ余り高くない武田画伯のこの突然の個展開催に、かくも多数のご来館を得たこと

いる。モンマルトルの坂道に、枯葉が散つて濡れている。明日から、何が僕を待ち受けているのだろう。」

（二〇〇二・一一・一〇日記）

僕がはじめてパリを訪れたのは、一九七一年の春だった。あれから三十年以上の歳月が流れた。きっといつかあの街に住み、絵を描いて暮らそうと、心のどこかで思い続けていた。絵を描くということは、僕にとっては特別な意味を持つていた。それは、物心ついでいた。それは、物心ついたときから、心の奥深いところに在る「僕のもともと世界」とでも言うべきものだった。今何をしていいようが、何處にいようが、いつかはきっとそこへ行くのだと思っていた。パリは、そのことのために、もつともふさわしい場所だった。

パリの冬は、暗く底冷えがして、冷たい小雨が降り続く。初めの一ヶ月は、モンマルトルのホテルに住んだ。一月になつて、サン・マルタン運河に近い、レ・ロワイヤルの中庭を歩いていた。すると何かが違うことに気付いた。よく刈り込まれて、天を刺す黒棘のようだつた樹々の梢が、ほのかに黄色味を帯びて、いつの間にか優しくなつて超えていくというその方は、今も毎日外に出て、絵を描き続けているという。画家は僕の絵を見て、あなたは天性のものを持っていると

言った。その後もこの方は終始僕の絵を褒め、元気付けてくれたのだった。僕は父の言葉を聴いているような気がした。父は、僕が二十歳の時に亡くなつたが、画家だった。父が残したスケッチの数々、ヨーロッパから取り寄せた美術全集、フランスの小説本。僕はこれら遺品の中に、父の言葉を聞き、会話をして育つたのだった。画家は山本平さんといつたが、僕はあちこちの写生に同行するようになつた。いつの間にか心は軽くなり、暗い空は遠のいていった。

パリの春は、ある日突然やつてくるという。三月半ばを過ぎた日曜日。僕は、東京から来た友人夫妻と、ルーブル美術館に近いパレ・ロワイヤルの中庭を歩いていた。すると何かが違うことに気付いた。よく刈り込まれて、天を刺す黒棘のようだつた樹々の梢が、ほのかに黄色味を帯びて、いつの間にか優しくなつて超えていくというその方は、今も毎日外に出て、絵を描き続けているという。画家は僕の絵を見て、あなたは天性のものを持っていると

あの長く暗い冬が去つて、
マロニエが花咲き、プラタ
ナスの若葉が陽光に輝く、
パリの春がやつて来たのだ。
復活祭も近いが、キリスト
と共に甦るのは、実は僕た
ち自身なのだと思った。住
んで初めて知った、春を迎
える喜びだった。

パリは歩く街だ。メトロ
は便利で速いが、バスのほ
うがずっといい。街が見え
ている。気に入った風景が
あるとすぐ降りて歩く。パ
リには二〇の区があるが、
僕はそのほとんどを歩いた。

それだけだ。二コッド親指
を立てて通り過ぎる。セー
ヌ。そこに架かる橋たち。
ゆつたりと流れる水。吹き
すぎる風。ペール・ラ
シーズ、モンマルトル、
モンパルナス墓地の静止
した時間。ベルヴィルの丘か
ら見る夕焼け。ヴァンセン
ヌ、ブーローニュ、モンス
リ公園の小路と花々。す
べてのことのが遠ざかつて
いた。僕は独りで、自由
だった。パリの風に吹かれて、
時を忘れて、ただひたすら

絵を描いていたのだった。
季節は夏となり、コート・
ダジュール、プロヴァンス、
ノルマンディ、そしてブル
ゴニユからベルギーへと、
僕のスケッチの旅も広がつ
ていった。

人は本当に無私のものに
出会えるのだろうか。全て
を捨ててもいいもの、お金
や、評価とは関係なく、た
だそれだけで満足できるも
の。絵は、果たして僕にとつ
て、唯一で無私のものとい
えるのだろうか。確かに、
朝から絵を描いていて、気
付いたら外が暗くなつてい
たこともある。絵を描くと
いうことは、何かと出会い、
何かを発見していくことだ。

だから感動し、心がときめ
くのだ。しかし、その一方
で、自分の形や色が見つか
らずに、自分のアイデン
ティティがばらばらになつ
ていく恐怖も味わつた。目
の前には暗い闇だけが広
がつていて思つた。

「武田光弘個展
(今回の個展の挨拶文より)
二〇六便は、家族が待つ東
京へ向かつて、天空を飛ん
でいる。三六六日ぶりの再
会だ。この先に待つている
ものにも、勇気を持つて、
真直ぐに向かつていこう。
新しい旅は、まだ始まつた
ばかりなのだ。(二〇〇三・
一一・一一機上にて)

僕を乗せたパリ発ANA
二〇六便は、家族が待つ東
京へ向かつて、天空を飛ん
でいる。三六六日ぶりの再
会だ。この先に待つている
ものにも、勇気を持つて、
真直ぐに向かつていこう。
新しい旅は、まだ始まつた
ばかりなのだ。(二〇〇三・
一一・一一機上にて)

本当にありがとうございました。
ゆっくりとれる時間の中
に、ただ無心に絵と向かい
合う日々、国も年齢も肩書き
も無い、ただ一人の人間
としての自分がいると思い

ました。

本当にありがとうございました。
(略歴)

「暗歴・主要な活動項目」
一九三八
札幌市生まれ（小・中・
高を美唄から北大教育学
部）

一九六〇
NHK入局以来、放送番
組の、ディレクター、プロ
デューサーとして、主
に教育、教養番組の制作
を行ふ。

私は人生というものは、
何も一本道の様なものでは
ないわば別次元の世界へ心が
行つてしまふことです。放

なく、何本もの糸が撲り合
わさつている紐のようなも
のだと思います。職業
にしている仕事であつても、
それはいくつかの偶然の中
で出会つた糸の一つにすぎ
ず、他に何本もの糸が隠れ
ているという感じです。幸
運なごく少数の人は別にし
て、大方の人は自分にとつ
て無私といえるものを求め
て、人生を旅しているよう
なものではないでしょうか。

私は長くメディアの仕事
をしてきました。放送局に
勤めて番組を作りながら、
国内外の色々な職場を歩き、
いつも競争と評価にさらさ
れました。そんな日々
の中にあつて心の深いところに
見え隠れしていたのが
絵を描くという糸でした。

三〇歳を過ぎた頃に初めて

訪れたパリで、きっといつ
かこの街に住み絵を描く生
活をすることになると確信
した時ことを忘れません。
当時の印象派美術館の裏の
チエイルリー公園の一角で、
鉄製のイスに座つて散策す
る人々を眺めながら、何故
かそう思ったのでした。

私は、公募展には出品した
こともありますし、今後
も公募団体に所属する気も

ありません。個展の場でこ

うして「覽頂くだけで光榮

ですし、私は十分すぎる

幸せだと思っています。今

が出来ました。感謝申し上

げたいと思います。本展に

は、この一〇年の作品で自

ら約五〇点を選び、特に文

脈もなく展示させて頂いて

おります。

お忙しい中を、わざわざ
お運びを頂き、「高覧賜つ
た皆様に心より感謝申し上
げます。

本当にありがとうございました。
(略歴)

一九八二
(財) 国際博覽会協会 催事
部長 (つくば科学万博)

回の個展は、私の故郷での

おそらく最初で最後の個展

かもしませんが、夭折し

た父の絵も札幌芸術の森美

術館の御好意で、私の絵と

一緒に展示させて頂くこと

が出来ました。感謝申し上

げたいと思います。本展に

は、この一〇年の作品で自

ら約五〇点を選び、特に文

脈もなく展示させて頂いて

おります。

お忙しい中を、わざわざ
お運びを頂き、「高覧賜つ
た皆様に心より感謝申し上
げます。

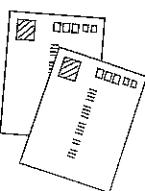
本当にありがとうございました。
(略歴)

一九八二
(財) 国際博覽会協会 催事
部長 (つくば科学万博)

- 一九八七 NHK特集「海底の戦艦
大和」（一九八二）
- 一九八八 NHK教育番組センター
部長 僚総合ビジョン 常務取
締役
- 一九九一 NHK海外企画局 エグ
ゼクティプ プロデューサー
- 一九九三 NHKプロモーション
代表取締役社長
- 一九九八 聴放送番組センター 常
務理事
- 二〇〇〇 放送ライブラリー 初代
館長（兼務）
- 二〇〇一～二〇〇三 フランス滞在（絵画専念
のため）
- 二〇〇四 武藏大学 客員教授
第一回個展（色彩美術館）
- （主な制作放送番組）
(NHKラジオ)
明治百年記念芸術祭参加
「一番きれいな星」（一
九六八）
NHK特集「炎の海——画
家青木繁の生と死」（一
九七八）
- NHKアリーナ国際設計施
工提案競技審査員、同ア
リーナ運営検討委員会委
員長
- ・埼玉県、富山県、石川県、
千葉市ほか都市再開発・
文化施設検討委員会委員
等
- （一九九四～二〇〇〇）
- 学部卒業後四〇年が経ち
ました。この間、己の人生
を振り返ると、時間の経過
の早さと未達の多さに愕然
とします。今からでも遅く
ないと自分に言い聞かせつ
つ日々を過ごしています。
- 島市 鈴木 泰（71年卒）北広
島市
- 六月に松江から退職して
帰京いたしました。一一月
六十九日、中国南京市の百
貨店に講演を依頼されて、
無事終えてまいりました。
中国は聞きしに勝る活力の
年に奉職しております。た
まには北大の空気を吸い、
論文に触れたく思います。
- 本業も忙しいのに「泊原
準を超えたモノですが、ソ
- 当方、長年の病氣にて失
礼しておりますが、連絡い
ただきうれしく思います。
- 数年前に発症した前立腺
がんと腎透析と向き合う
日々です。元気だったころ
出場していた学部対抗のゴ
ルフ大会がつい先日のよう
に思い出されます。今は同
窓会だよりから元気をも
らっています。
- 市 市務局の皆さま、いつも
ありがとうございます。結
婚して大阪に行くことにな
りました。ご盛会をお祈り
申し上げます。
- 坂本育美（06年卒）札幌
市白石区
- 今年度新たに研究所を立
ち上げました。現職のビジ
ネスマントを対象に研修活動
を行っておりますが、今後
は研究活動にも力を入れ、
研究会の設立を目指してお
ります。
- 北守 昭（76年修士修了）
市 福田三行（69年卒）江別
市
- 花田徹夫（56年卒）札幌
市東区
- 花田徹夫（56年卒）札幌
市東区
- 北電の泊原発見学バスツ
アーチを企画しました。福島
原発事故があり、やらせの
問題もありましたので、監
視する必要があると思いました。
す。
- 小中生の「不登校」はい
わば高止まり現象を続けて
います。公教育のあり方に
て、現代史と未来の子ども
への責任をささやかに果た
すためです。
- 地元・伊那市美篤（みす
づ）の公民館長を務めて四
年目。社会教育を専攻しま
したが、今ごろ恩返しして
います。
- 赤羽 仁（64年卒）長野
県伊那市
- 今年は諸事情により渡道
しません。来年は六月北大
スキー部創立百周年記念に
参加予定。教育学部同窓会
は二〇一二年には出たいと
思いますが、皆さまのご
健康を祈念します。
- 織田光之（55年卒）埼玉
県さいたま市
- フリーになつて二年、町
内会と民委、やつと原点に
戻れた感がします。在学時
代の私のロマン、まだ残っ
ているようです。同窓会の
皆さまのご活躍ご健勝を祈
念いたします。
- 福田三行（69年卒）江別
市
- 北大排球部時代の超O.B
会（戦後～昭和二七年入学
生）が市内のレストランで
開催され、昔取った杵柄で
花を咲かせました。平成二
四年九月北大構内を会場に
開く予定です。
- 市 村 博次（54年卒）江別
市
- 八尾崇寛（09年修士修了）
三宅 繁（69年卒）北広
島市
- トガやや弱いと感じまし
た。
- 坂本仁彦（70年卒）東京
都世田谷区
- 谷脇 靖（62年卒）札幌
市北区
- 谷脇 靖（62年卒）札幌
市北区
- 坂本仁彦（70年卒）東京
都世田谷区
- 坂本仁彦（70年卒）東京
都世田谷区
- 龟貝一義（60年卒）札幌
市西区
- 龟貝一義（60年卒）札幌
市西区
- 訟にかかるついて、超多
忙です。七七歳の老人とし
て、現代史と未来の子ども
への責任をささやかに果た
すためです。
- トガがやや弱いと感じまし
た。
- 訟にかかるついて、超多
忙です。七七歳の老人とし
て、現代史と未来の子ども
への責任をささやかに果た
すためです。
- トガがやや弱いと感じまし
た。
- 訟にかかるついて、超多
忙です。七七歳の老人とし
て、現代史と未来の子ども
への責任をささやかに果た
すためです。
- トガがやや弱いと感じまし
た。
- 訟にかかるついて、超多
忙です。七七歳の老人とし
て、現代史と未来の子ども
への責任をささやかに果た
すためです。

平成24年9月10日

- 島市
- 九月からまた旭川大学保健福祉学部で働き始めました。同窓の山内学長と末岡学部長に協力してやつてます。
- 伊藤則博（62年卒）札幌市厚別区
- 早いもので卒業して二五年が経過しました。まあこれから的人生どうしましょうかね。
- 中出昭彦（86年卒）札幌市厚別区
- 眼が不自由なため欠席いたします。学部発展を陰ながらお祈りしております。
- 早川和雄（56年卒）小樽市
- 北海道帰郷の夢破れ、大阪で勤務しております。北大関西同窓会に出席し、「都ぞ弥生」を歌わせていただけております。
- 和田 昇（83年卒）大阪府寝屋川市
- 一年間が早く経ち、高齢にいつの間にかなつて、元気に過ごしています。ご盛会を祈ります。
- 鈴木尚（56年卒）京都府京都市
- 北大フロンティア基金は、わずかですが教育学部に振り込まれさせていただきます。
- 橋爪幸正（61年卒）埼玉県さいたま市
- 札幌を遠く離れて長くなり、同窓会だよりは母校の様子を知る貴重な情報源になっています。
- 田中稔久（83年卒）兵庫県神戸市
- 都合により出席できませんでしたが、「たより」を読ませていただき、五〇年近く前
- 細川光法（98年卒）札幌市東区
- リニューアルした県立の精神科の病院で、臨床心理科長として勤務しています。
- 高木哲郎（59年卒）千歳市
- 眼が不自由なため欠席いたします。学部発展を陰ながらお祈りしております。
- 武田達也（83年卒）長野県岡谷市
- 相変わらず男声合唱を続けております。一月には定期演を予定しています。
- 唐津 愈（54年卒）札幌市中央区
- 来年で非行少年との付き合いも三〇年目を迎えます。单身赴任生活も磨きがかかるが、生活習慣病克服のため、伴走ボランティアを始めました。相手に寄り添いながらも、学びの多い日々です。
- 村尾博司（82年卒）群馬県前橋市
- 同窓会長の竹田正直先生が、日本ユーラシア協会会長になられたことで、上京され、お会いする機会が増えました。私が携わっている中小起業家同友会の国際交流の面でも、接点の増えることを喜んでおります。
- 国吉昌晴（66年卒）東京都西東京市
- 北大の同窓会だよりを揮毫しています。
- 「鈴木章名誉教授のご講演」を楽しみにしておりました。
- 三島陽子（65年卒）江別市
- 周囲の環境が変わり、前とは違った形で楽しく過ごしています。
- 菅 洋一（06年卒）札幌市豊平区
- 大坂の同窓会に所属します。盛会をお祈りいたします。
- 三島陽子（65年卒）江別市
- 大坂の同窓会に所属します。盛会をお祈りいたします。
- 鈴木朝英先生が懐かしいであります。四年間の北大生活も懐かしく思います。わが子ども二人も北大で過ごしました。
- 吉田敏雄（56年卒）札幌市北区
- 「いつも同窓会だより送つ
- ご案内ありがとうございました。元気に走り回っています。
- 酒井英賀（76年卒）福島県福島市
- 七年以来国立七大学戦（陸上競技・厚別）を応援しました。下旬に萩・津和野、宮島の歴史紀行に参加します。盛会と会員諸兄のますますのご健勝を祈念します。
- 堂本 勇（55年卒）札幌市北区
- 北大フロンティア基金は、わずかですが教育学部に振り込まれさせていただきます。
- 鈴木里津子（78年卒）札幌市中央区
- 同窓会長の竹田正直先生が、日本ユーラシア協会会長になられたことで、上京され、お会いする機会が増えました。私が携わっている中小起業家同友会の国際交流の面でも、接点の増えることを喜んでおります。
- 同窓生諸氏のご活躍を祈念します。
- 田中稔久（83年卒）兵庫県神戸市
- 都合により出席できませんでしたが、「たより」を読ませていただき、五〇年近く前
- 牛島康明（74年卒）千葉県千葉市
- 子育てでなかなか札幌に行く余裕がありません。「味の時計台」で我慢してます。
- 杉山昌夫（83年卒）埼玉県
- 大坂の同窓会に所属します。盛会をお祈りいたします。
- 鈴木朝英先生が懐かしいであります。四年間の北大生活も懐かしく思います。わが子ども二人も北大で過ごしました。
- 吉田敏雄（56年卒）札幌市北区
- いつも同窓会だより送つ



会務報告 (H23.9.1~H24.7.31)

期日	会務事項
H23.9.12	2期藤谷様逝去につき弔花を送る。
H23.9.20	平成23年度 会報発行。
H23.10.21	法・経合同同窓会に幹事長が参加。
H23.10.22	平成23年度 同窓会総会・懇親会開催。(於、満漢樓)
H24.2.6	リテラ・ポプリ発送。
H24.3.22	北大卒業式。学部学位記授与式・謝恩会に竹田会長と斎藤幹事長が出席。同窓会として、ビールとアレンジメントフラワーを寄贈。学年幹事委託。(森本晃大さん、深尾杏奈さん)
H24.3.31	リテラ・ポプリ発送。
H24.4.20	平成23年版 同窓会名簿発行。
H24.6.4	平成24年度 幹事会開催。
H24.6.12	北大連合同窓会会議。竹田会長と斎藤幹事長が出席。
H24.7.14	リテラ・ポプリ発送。

会計報告 (H23.9.11~H24.7.31)

収入の部		支出の部	
前期繰越	11,363	総会時支払 (H23)	122,000
総会時収入 (H23)	140,000	会報作成発送 (H23)	339,638
会費等収入 (料金相殺)	214,460	通信費	52,688
雑収 (銀行利息)	0	雑費・消耗品費	2,610
借入金	200,000	慶弔費	5,000
		交際費	18,000
		卒業式協力費	20,120
		小計	560,056
		*次期繰越	△ 194,233
合計	565,823	合計	△ 194,233

* 繰越内訳

郵便振替残	4,408円
銀行預金残	1,359円

合計 △ 194,233円

同窓会事務局からのお願い

会計報告にもあるように、名簿の発行に伴い、同窓会の財政は逼迫しております。
会費の納入、ならびに名簿(残47部) 購入のご協力をよろしくお願ひいたします。





北大では、卒業生の皆様にご利用いただけるWebサービス「アットフロンティア」をスタートしました。フリーメールの手軽さで北大メインのメールが使える、他の卒業生との連絡機能も搭載。校歌や寮歌の演奏データがダウンロード可能なほか、北大発のイベントやビジネス情報も入手できます。生涯使えるメールアドレスで、他の卒業生や北大と、生涯つづくコミュニケーションを。

利用資格は「北大卒業生」、利用料は無料です。

北大ドメインのメールアドレスを無料でご提供します。

無料で取得できる hokudai.ac.jp ドメインのメールアドレスは、メールソフトからも Web メールとしても利用できますので、フリーメールのように便利なのに、北大ドメインなので高パリューです。利用期限がありませんので、普段使いのメールアドレスとしてご活用ください。もちろん、いつも使う職場や携帯電話のメールアドレスに転送することもできます。

北大の四季やイベント、研究成果やビジネス情報も。

北大で行われるイベント情報や、キャンパスに訪れる四季の様子など各種お知らせを毎月お届けします。北大発のビジネス情報、話題の講演会、定期的な研究成果からサークルの活躍まで、多彩な内容でお送りします。

なつかしの寮歌や校歌を携帯電話・PCでダウンロード。

あの日歌った校歌や寮歌も、時間が経つとうろ覚えに…そんなときは、@Frontier で歌詞やメロディをしっかりチェックしましょう。「北大人」の集まりには欠かせません。もちろん、携帯電話の着信メロディにも使用できます。

登録ユーザー同士で検索して、連絡先を管理。

独自のアドレス帳機能で、他の卒業生との連絡手段として活用できます。連絡先が分からなくなったり相手でも、氏名や学部学科など特定の情報が分かれればメッセージをお届けします。

※送信相手は@Frontier メールアドレスを取得した卒業生に限ります。

生涯使えるメールアドレスで、生涯つづくコミュニケーション。



@Frontier 新規登録申請方法

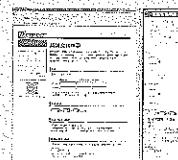
① Webサイトにアクセス

二次元バーコードを携帯電話で読み取るか、携帯電話・PC ブラウザでの URL を入力してアクセスし「新規登録申請」をクリックしてください。<http://www.frontier.hokudai.ac.jp/>



② 氏名や卒業学部を入力

登録申請フォームが表示されるので、必要事項を入力して申請手続きを行ってください。



③ アカウント送付

北大卒業局により、卒業証実確認を行います（この作業にはお時間をおいてください）。確認完了後、アカウント情報（IDおよびパスワード）をEメールまたは郵便で送付します（通知方法は申請時の連絡先にEメール・ご住所のどちらを指定したかによって異なります）。

@Frontierに関するお問い合わせは、北海道大学総務企画部広報課 (info@frontier.hokudai.ac.jp/011-706-2153) までお気軽にお寄せください。



学生支援の「北海道大学カード」

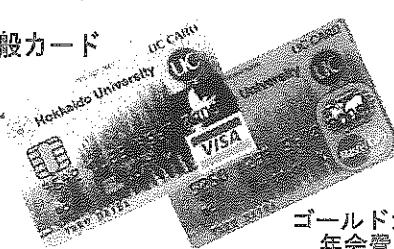
北大人の証明

北海道大学連合同窓会が発行する「北大カード」は、北大人としての証です。

(北大同窓生、在学生父母及び教職員限定)

一般カードは年会費永久無料！！
（ゴールドカードを除く）

一般カード



カードの利用額に応じて提携手数料がカード会社から還元されます。これを「学生支援資金」として奨学金などの学生支援に活用します。

ゴールドカード
年会費10,500円（税込）

特典

附属図書館の入館証
植物園の無料入園証
北大カード協力店の割引・優待
北大出版会書籍割引
希望者へ結婚式への祝電サービス
(総長・連合同窓会長連名による)
カード会社からの各種サービスなど
(詳細は申込書等をご覧ください。)

お申込について

- 専用の申込書を下記あてご請求ください。専用申込書を送付いたします。
- 専用申込書に所定事項を記入・捺印いただき、ご投函ください。
- カード会社の審査を経て、お申込から約1ヶ月後にカード会社から配達記録郵便にてご自宅あてお送りいたします。

北海道大学連合同窓会事務局（北海道大学総務企画部広報課）
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電話：011-706-2153

E-mail：kouhou2@jimu.hokudai.ac.jp

申込書ご請求先

※UCCカードのホームページからも、申込書を請求できます。
(ホームページ下部の「資料請求」からお進み下さい。)
<http://www2.uccard.co.jp/join/college/hokudai.html>